

経過報告

1 昨年度に引き続き、第2回岡山県良質堆きゅう肥共励会を開催した。

2 現物審査

平成12年8月9日、県総合畜産センターにおいて、岡山県良質堆きゅう肥共励会を開催した。

当日、9振興局から選出された良質堆きゅう肥20点が搬出され、堆きゅう肥の品質判定基準を基に、県総合畜産センター所長の荒木審査長をはじめ計10名の審査員により、品質の判定を行った。

審査長 総合畜産センター 荒木所長

審査員 県畜産会 本松次長

総合畜産センター 飼料環境部 古川科長

内田技師

農業総合センター 農業試験場化学研究室 沖室長

農業総合センター 総合調整部技術普及課旭分室 藤原技術参事
佐藤専門技術主幹

県経済連畜産部養鶏課 安達課長

耕種農家代表（JA備南施設園芸茄子部会長） 大塚 公祐氏

耕種農家代表（岡山県農企業者クラブ 副会長、ぶどう栽培）金居 正彦氏

審査項目：臭気、手触り、色合い、堆積期間について、審査を行った。

その後、総合畜産センターにおいて、こまつな発芽試験、EC（電気伝導度）、PHについての分析を行った。

水分、窒素、リン酸、カリ、炭素、亜鉛については、財団法人岡山県環境保全事業団に、分析を依頼し、8月28日にその結果の報告があった。

以上の審査及び検査から、臭気、手触り、色合い、堆積期間の4項目の品質判定、及び、こまつな発芽試験、C/N比、EC、有機物の4項目、併せて亜鉛の分析値により、順位を決定した。

4 その結果、JAびほく堆肥センター、土屋 守氏、有限会社哲多町堆肥センターの順位で優秀な堆きゅう肥を選定した。